

事業番号	07 06 07	事業改善シート (24年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	多文化共生推進事業			担当課	部局	観光部
					課・室	国際課
<参考> 総合5か年計画	プロジェクト	2-2 協働、人権尊重、男女共同参画社会の実現 4国際化の推進		E-mail	kokusai@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開			実施期間	H13 ~	

1 事業の概要

目指す姿	国籍など異なる人々が互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら共に生きていくことのできる多文化共生社会の実現					
現状	<p>○平成24年12月末の県内に在住する外国人の数は31,398人で、経済環境の悪化などから減少しているものの、永住資格の取得が伸びており(H17/5,742人→H24/12,183人)、また永住者(一般永住者)が全体の約4割を占めるなど、外国籍県民の定住化が進んでいる。</p> <p>○母国の言語や文化・諸制度との違いなどから、外国籍県民が安心して暮らしていく上で教育、労働をはじめ様々な課題を抱えている。</p> <p>○多文化共生の地域づくりのために、行政等の支援だけでなく、外国籍県民自らが積極的に参画することが必要である。</p> <p>○外国籍県民自らが主体となり生活上の課題解決を図る活動の促進と、外国籍県民コミュニティのキーパーソンとの連携が必要である。</p>					
県が関与する理由	<input type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管 <input type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 【左記の説明、根拠法令等】 <input checked="" type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 【県は広域的な課題への対応や一市町村ではできない施策を行うとともに、行政サービスの主体の一つとして事業を実施する責務がある。】 <input type="checkbox"/> その他()					
事業内容	① 成果目標(H24)					
	<ul style="list-style-type: none"> ・外国籍県民キーパーソンの発掘と育成 20名程度 ・地域共生コミュニケーター登録者数 300人 (長野県中期総合計画(H20~H24)における数値目標) ・多文化共生くらしのサポーター(母国語相談員)相談件数 4,000件 					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H24事業実績			
				H24 (当初)	H24 (決算)	H25 (当初)
	1. 多文化共生推進事務費	直接	連絡会議を2回開催し、国・県・市町村や関係団体等が情報・意見交換を行い、連携して取り組んだ。	390	390	390
	2. 多文化共生くらしのサポーター設置事業	負担金	母国語相談員4名(ポ、中、タガログ、タイ、英に対応)を(公財)長野県国際化協会内に配置した。相談件数5,943件。	9,516	9,516	9,516
	3. 通訳派遣・法律相談会開催事業	直接	・通訳者派遣/保健福祉事務所等へ、派遣26件。 ・通訳付法律相談会の開催/3地区、相談件数12件。	192	192	192
	4. 地域共生コミュニケーター活動支援事業	直接	・地域共生コミュニケーターの登録/297名。 ・連絡会議の開催/4地区、参加者80名。	98	98	98
	5. 外国籍児童就学支援プロジェクト推進事業	負担金	経済的に恵まれない外国籍児童生徒への就学援助等を行うサンタ・プロジェクトに負担金を交付し、活動を推進した。就学援助金交付人数/43人。	2,500	2,500	2,400
	6. 災害時の外国籍県民支援体制づくり事業	直接	・災害時語学サポーター育成研修会の開催/2地区、参加者88名。 ・災害ボランティアネット信州への登録/21名。	391	360	528
	7. 外国籍県民ネットワーク連携支援事業	委託	・キーパーソン・ネットワーク会議の開催/2地区。 ・外国籍県民キーパーソンの発掘と育成/36名。	459	459	475
			合計	13,546	13,515	13,599

事業コスト	区 分(単位:千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越				項目	現況(見込)	H24			H25目標	
		当初予算	30,316	20,514	13,546			13,599	目標	成果		達成状況
		補正予算	-4,679	-800								
		合計(A)	25,637	19,714	13,546			13,599				
	Aの財源	国庫支出金					外国籍県民キーパーソンの発掘と育成(キーパーソン・ネットワーク会議への参加者数)	-	20名程度	36名	達成	H24~の延べ60名
		県債										
		その他()	10,807	4,562	850	1,003						
		一般財源	14,830	15,152	12,696	12,596						
	決算額(B)	22,454	19,326	13,515		地域共生コミュニケーター登録者数	276人	300人	297人	未達成	310人	
概算人件費	職員数(人)	3	3	3	3	多文化共生くらしのサポーター相談件数	3,941件	4,000件	5,943件※	達成	4,000件	
概算事業費(B(A)+C)	24,951	24,774	24,774	24,774								
	47,405	44,100	38,289	38,373								

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・外国籍県民キーパーソンの発掘と育成に関しては、市町村等と連携し、目標を上回る人数の人材を掘り起こし、活動の啓発を行った。 ・地域共生コミュニケーター登録者数に関しては、県外転出等による辞退者(7人)があったため、数値目標は3名未達成であったが、外国籍県民への情報伝達拠点や支援拠点の拡大につながった。 ・くらしのサポーターの相談件数に関しては、常設で母国語による相談窓口を設置することにより、外国籍県民が県の行政サービスを均しく受けることができた。(※H24はH24.7月の在留管理制度変更により相談が多かった。)
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか。	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<ul style="list-style-type: none"> ・外国籍県民が主体となった助け合い活動等を促進するために、引き続き、人材(キーパーソン)の育成と連携支援を行う。また、具体的な活動を拡大していくために、モデルとなる活動についてノウハウ等の普及を図る。 ・母国語による相談の実施、情報提供、県機関窓口への通訳者の派遣、外国籍の児童生徒の就学支援、ボランティア(地域共生コミュニケーター)の登録拡大と活動促進、災害時の支援体制の強化など、効果的に支援事業を実施する。